

私の町の有名な日本人



ヴィノクロヴァ・アイーナ

私はヤクーツクというロシアの町から来た。ヤクーツクは国の北にある寒い町なのに、生活がとてもおもしろい。ヤクーツクの冬はもちろん極端なので、毎年そこにたくさん外国人が来る。旅行をしたいろいろな人がヤクーツクに来て、遊んで、その生活がいいと思って、ヤクーツクに住んでいる。その人の中に日本人もいる。

ヤクーツクの一番有名な日本人の名前は、丹野浩行さんだ。4年ぐらいまえに、浩行さんは日本から来た。ロシア人が日本の料理が大好きだと聞いて、浩行さんはとてもびっくりした。それで、浩行さんは「じゃ、日本料理の店を作ろう」と思った。今、ヤクーツクで「マサムネ・ラーメン」という浩行さんの店がある。その店の料理はとてもおいしいし、安いし、味もデザインも日本の料理と同じだ。ヤクーツク人は「マサムネ・ラーメン」が好きだ。私も中学校の時に、そこでいつもランチを食べに行った。浩行さんの店がロシアで有名になって、今、シンガポールとアメリカにもある。

しかし、浩行さんは一人ではない。ほかにも日本人がいる。私の先生だ。その先生の名前はほしじまさんだ。ほしじま先生は7年ぐらい前ヤクーツクに来た。ロシア語を勉強して、今、完璧なロシア語を話せる。大学で日本語とロシア語の先生だ。私は、ロシア語の先生が日本人と聞いて、とてもびっくりした。

日本人もロシア人もお互いの国に興味を持っているのがとてもいいと思う。ぜひ、皆さんにヤクーツクに来てほしい。